

# 令和 3 年度揖保川水系流域治水対策の取組事例

---

# 河道掘削、堤防整備、護岸整備

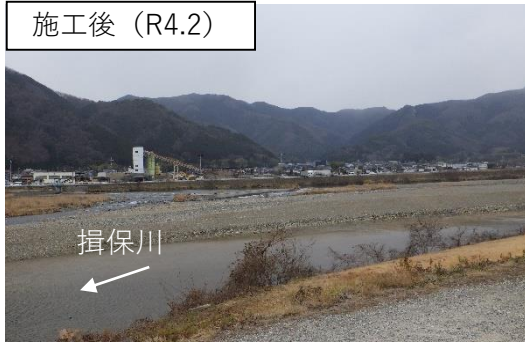
# 洪水の氾濫を防ぐための対策

- ・ 揖保川本川や支川において、洪水時の河川水位を下げるために、河道掘削を実施
- ・ 目標洪水を流下させるために必要となる堤防の整備を実施

## 河道内の河道掘削

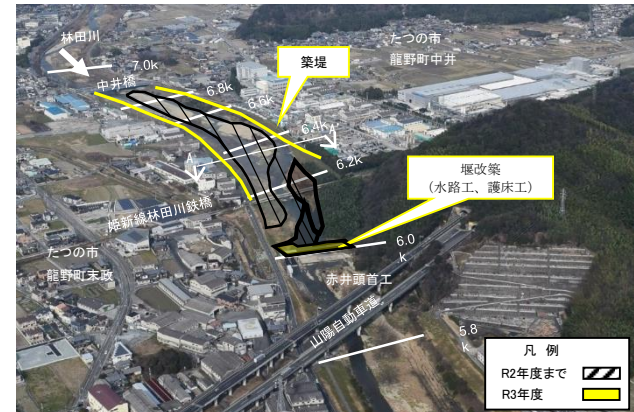
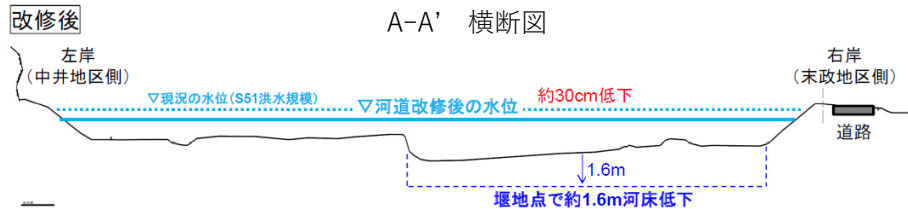
5カ年加速化対策により、揖保川本川、支川林田川・栗栖川の整備計画目標流量を安全に流下させるための取組を実施  
(取組事例：姫路河川国道事務所)

揖保川支川の菅野川や山根川等において、洪水を安全に流下させるために必要な河道掘削や護岸等の整備を実施  
(取組事例：兵庫県)



## 市街地を浸水から守る堤防の整備

揖保川支川の林田川において、令和3年度は堤防が整備されていない地区の堤防整備を行うとともに、流下能力を向上させるために堰改築を実施。  
(取組事例：姫路河川国道事務所)



揖保川支川林田川 中井・末政地区 整備概要

# 堰改築、橋梁改築

## 洪水の氾濫を防ぐための対策

- ・ 河川に設置された堰や橋梁などの工作物のうち、目標洪水の流量に対して、流下能力が不足している区間について、流下能力を向上させるために堰、橋梁の改築等を実施

### 堰改築

揖保川水系河川整備計画に基づき、堰改築が必要と位置付けられている堰について、必要な対策に取り組む。

揖保川水系林田川において、流下能力を向上させるために堰改築を行う。  
(取組事例：姫路河川国道事務所)

- ・ 揖保川支川林田川 中井・末政地区 堰改築 (赤井頭首工)



施工状況



新堰の様子

### 橋梁改築

揖保川水系揖保川圏域河川整備計画（県管理区間）に基づき、架替が必要とされている橋梁について、必要な対策に取り組む。

揖保川支川山根川 治水上支障となる橋梁の架け替えを実施。  
(取組事例：兵庫県)

- ・ 揖保川水系山根川 宮川2号橋 橋梁改築



(整備前)



(整備後)



## 下水道(雨水貯留管)の整備

## 内水の氾濫を防ぐための対策

- ・ 浸水常襲地区における内水の氾濫を防ぐため、雨水貯留管の整備を実施。

### 下水道 (雨水貯留管) 整備

広畑本町貯留管他整備事業 (取組事例: 姫路市)

< 目的 > 雨水貯留管整備により浸水被害の軽減を図る。

< 事業内容 > 雨水貯留管: シールド管  $\phi$ 3200mm、L=1070m  
 推進管  $\phi$ 800mm、L = 456m  
 貯留容量: 約8300m<sup>3</sup>

< 事業期間 > 令和2年度～令和5年度

< 進捗状況 >

(令和4年2月現在)

シールド発進立坑築造完了

防音ハウス施工完了

シールドマシン製作完了

(令和4年5月～)

シールドマシン発進予定



防音ハウス施工状況



シールドマシン製作状況

# ため池・水田、校庭等の 雨水貯留浸透機能の確保

# 流域の貯留機能を向上させるための対策

- ・ ため池や水田などの既存の農業用施設を活用した治水対策に取り組む
- ・ 兵庫県及び関係市町が連携して、堰板の配布や普及啓発を行い、田んぼダムによる雨水の流出抑制に取り組む

## 田んぼダム

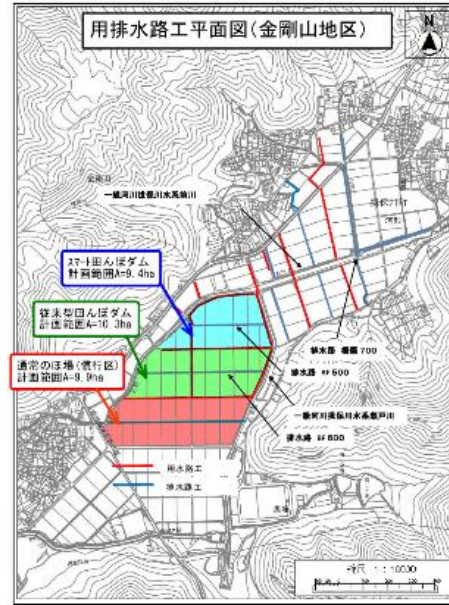


スマート田んぼダム落水状況  
(たつの市金剛山地区)

<スマート田んぼダム 金剛山地区>  
一斉落水 (R3.8)  
(取組事例：たつの市)

<田んぼダム>  
実施総面積：452ha  
(令和3年度末時点)  
(取組事例：たつの市)

## <スマート田んぼダム 金剛山地区実証実験 (事業主体：兵庫県)>

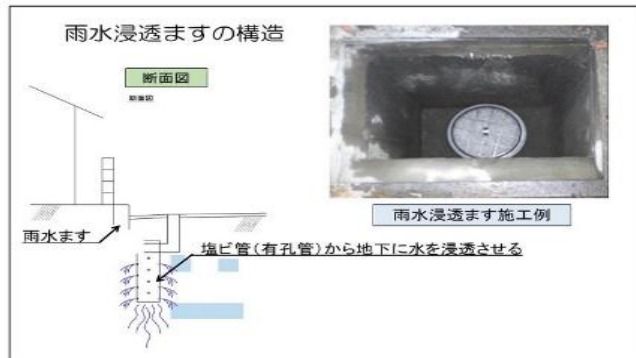


- ・ スマート田んぼは、洪水前に遠隔にて田んぼを落水させ、田んぼダムより貯留効果を増加させる試みである。
- ・ 実証実験は、自動給水排栓等を設置する「スマート田んぼダム」を9.4ha設けるとともに、これと比較する従来型の田んぼダム（セキ板を設置するほ場）10.3ha、慣行区（通常のほ場）9.9haの計29.6haを実証ほ場として設定して、「スマート田んぼダム」の効果を検証するものである。（事業主体：兵庫県）

## 雨水浸透施設

<側溝・ますの浸透化>  
市内の側溝等に雨水浸透ますを設置し、地下に雨水を浸透させることにより浸水被害を軽減させる。  
毎年40箇所程度設置予定。

◆実績（平成24年度～令和3年度）488箇所設置（市内全域対象）  
(取組事例：姫路市)



## 各戸による雨水貯留施設の設置



<設置費用の一部を助成>  
市内の住宅、事業所、集会所への雨水貯留タンクの設置に対し、設置費用の一部を助成。毎年30件程度助成予定。  
◆実績（平成27～令和3年度）313件助成（市内全域対象）  
(取組事例：姫路市)



# 森林の整備及び保全 (災害に強い森づくり(県民緑税)等)

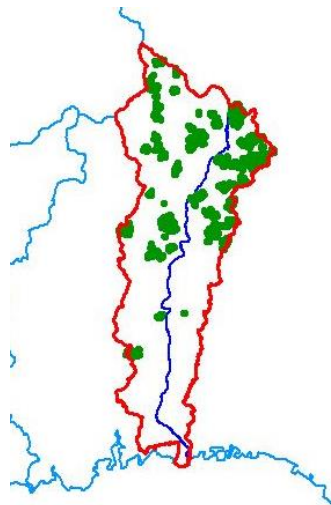
# 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等が適切に発揮されるよう、間伐や流木止め、混交林の整備を実施。
- ・兵庫県では平成18年度から「県民緑税」(県民税均等割の超過課税)を導入し、森林の防災面での機能強化を早期・確実に進めるために、「災害に強い森づくり」に取り組んでいる。

## 森林整備・保全

森林の多面的機能の発揮を図りつつ、資源を持続的に利用していくためには、主伐後の再造林や間伐等の着実な実施に取り組む。

- ・揖保川流域における水源林造成事業地位置  
下図の ● : 水源林造成事業地  
(事業地面積 約3,300ha)  
(取組事例：森林整備センター)



- ・新植(事業実績 21ha)
- ・間伐(事業実績 160ha)
- (取組事例：森林整備センター)



新植(たつの市)

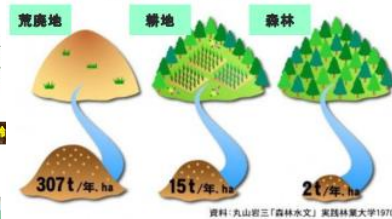


間伐(宍粟市)

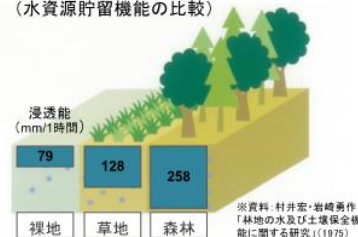
### ■ 森林整備(イメージ)



### 【森林の国土保全機能】 (流出土砂量の比較)



### 【森林の水源涵養機能】 (水資源貯留機能の比較)



### <緊急防災林整備>

下層植生が衰退した人工林内の危険渓流やその流域斜面において、間伐後の伐倒木を利用した簡易土留工や簡易流木止め施設の設置等の整備を実施した。  
(取組事例：兵庫県、宍粟市)

### <公有林整備>

市内人工林の約7割が間伐未実施のため、林業事業体と連携し間伐などの森林整備を実施した。  
(取組事例：宍粟市)

# 砂防堰堤等の整備

# 土砂や流木の流出を防ぐための対策

- ・ 土砂・流木をより効果的に捕捉できる透過構造を有する砂防堰堤等の整備を推進
- ・ 揖保川流域内の土砂災害を防止するため砂防堰堤等の整備を推進

## 砂防対策

揖保川水系小野川、セドの谷川、奥垣内川において、堰堤を整備  
(取組事例：兵庫県)

河川名：小野川  
所在地：宍粟市波賀町小野  
構造型式：透過型堰堤



河川名：セドの谷川  
所在地：宍粟市千種町西河内  
構造型式：不透過型堰堤



河川名：奥垣内川  
所在地：たつの市龍野町中井  
構造型式：不透過型堰堤



## 治山対策

森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向け、揖保川流域において、7箇所の溪間工事等を実施予定。

(取組事例：兵庫森林管理署)



事業区分	揖保川流域 (R元年度～R5年度)
治山	溪間工事等:7箇所



【治山：山腹工】



【治山：溪間工】



国有林名：戸倉東山国有林  
所在地：宍粟市波賀町戸倉  
工種：コクリト谷止工



国有林名：書写山国有林  
所在地：姫路市書写  
工種：床固工、流路工